

IBM IT Economics Studies



IT経済性評価は、お客様の財務的観点から
ITに関わる意思決定をご支援いたします。

IT経済性評価

ITコストの増加

IT環境が複雑化するなかで、企業は運用の単純化、ITコストの低減を実現しながらLOB(業務部門)の要望に対応する方法を探しています。

IBMは、貴社のIT環境について、技術的観点と経済的観点から最も効果的なソリューションの決定をご支援するアセスメントを提供いたします。
(基本は無償で利用できます。)

アセスメントの種類

ワークロード最適プラットフォーム評価(プラットフォーム選択評価)

オフロード(ダウンサイジング)、サーバー統合、新業務追加ケースでTCOと技術面で各プラットフォームを評価します。(Eagle TCO Study)

ビジネスバリュー・アセスメント **

業務部門のビジネス目標達成への効果の観点からソリューションの影響度を調査します。

アナリティクス

ビッグデータ&アナリティクスのためのプラットフォーム特性とストレージソリューションを比較します。

マシンラーニングアセスメント **

データとトランザクションの特性/属性から機械学習ソリューションの配備する場所を評価します。

セキュリティ

アセット(情報)の漏洩の影響をリスク分析し定量的に試算します。

モバイル

モバイルトランザクション特性を踏まえたコスト最適化とKPI評価します。
(スループット、応答時間等)

チャージバック(配賦)分析 **

実際のITコスト特性に対応したチャージバック方針の検討します。

ITベストプラクティス・ベンチマーキング **

貴社の実際のIT環境の指標を業界ベストプラクティスと比較します。

クラウドアセスメント

最適なクラウドソリューションを診断します。
(プライベート、パブリック、ハイブリッド クラウド)

**：日本での展開についてはご相談ください。

IT経済性評価

IT経済性評価

IT 経済性評価は、貴社の現在のIT環境と対案となるソリューションについて技術的および経済的観点での差異をベースに評価することが可能です。

アセスメントは貴社のIT環境のデータとコストを基にビジネスケースを作成し、**財務的な知見をもとにしたIT関連の意思決定**を可能にします。

貴社のIT環境と代替ソリューションを比較します。

- IT 運用費 (Opex)、IT投資(Capex)
- マイグレーションコスト
- サーバー老朽化更新費、保守費用
- Qualities of service (SLA、セキュリティ標準準拠、対障害性、保守性)
- ワークロード統合集約、サーバー使用率とパフォーマンス効率
- ROIと返済期間
- 評価期間全体でのコスト削減額

アセスメントにより、貴社のビジネスにとって最適な経済性(TCO)と技術を備えたソリューション決定をご支援します。

アセスメントの成果物

IT 経済性評価の成果物には下記項目が含まれます。

- 貴社向けにカスタマイズしたシナリオに基づく**詳細なアセスメント結果**
- 貴社のITコストの削減と技術的要望を実現するための**推奨事項**

IT経済性評価の実施

アセスメント実施の流れ

IT 経済性評価は、貴社の負担を極力抑えながら実施でき、数週(通常は約6週間)で完了します。弊社担当営業または日本の連絡先に直接ご相談いただくことも可能です。

以下の4ステップで実施します。

- 1. ワークショップの日程調整**
アナリストが貴社へお伺いする日時を調整します。初回打合せは2時間程度を予定しています。
- 2. ワークショップの実施**
アナリストが評価手法や過去事例についてご説明します。アセスメントの目的を確認し、貴社のIT環境についてヒアリングを実施させていただきます。また評価に必要な情報について調整しお預かりします。
- 3. データの分析**
アセスメントの実施範囲により、追加情報や追加ワークショップが必要な場合があります。分析と報告書作成は弊社内にて実施します。
- 4. 結果報告**
弊社よりアセスメント結果の報告を実施します。分析結果や推奨事項をご説明し、質疑応答や状況に応じてディスカッションも実施できます。



お問い合わせ:

IBM Eagle Team IT Economics Practice

www.ibm.com/iteconomics

ibm.com/partnerworld/iteconomics

IT.Economics@us.ibm.com

日本の連絡先

芳尾 俊英 : iqtoshi@jp.ibm.com

松隈 純滋 : jmatsu@jp.ibm.com